

## エジプト政情不安と原油・株価について

- ✓ 不安定な原油価格の動向は、投資家のリスク回避姿勢を高める要因に。
- ✓ エジプト経済に打撃となるスエズ運河、原油パイプライン閉鎖は回避されるものと見る。

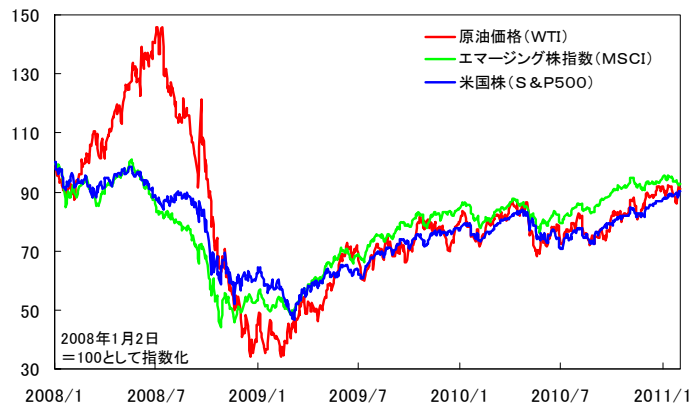
●エジプトの政情不安を受けて、世界の物流の要衝であるスエズ運河と、スエド・パイプライン(スエズ湾から地中海を結ぶ原油パイプライン)の封鎖懸念や中東産油国への地政学リスク伝播懸念から、原油価格が不安定な動きをしています。原油価格の動揺は投資家のリスク回避につながりやすく、リスク性資産の代表である株価に影響を与える可能性が指摘されています(図表①)。このため、エジプト情勢を反映しやすい原油価格の動向には注意が必要です。

●世界最大の石油消費国である米国(図表②)の消費動向は、原油価格の動向を見る上で重要です。過去、原油価格がピークアウト※したタイミングは、米国のガソリン消費が対GDP比で3%弱に達する局面となりました。現状はまだその水準に達していません(図表③)。

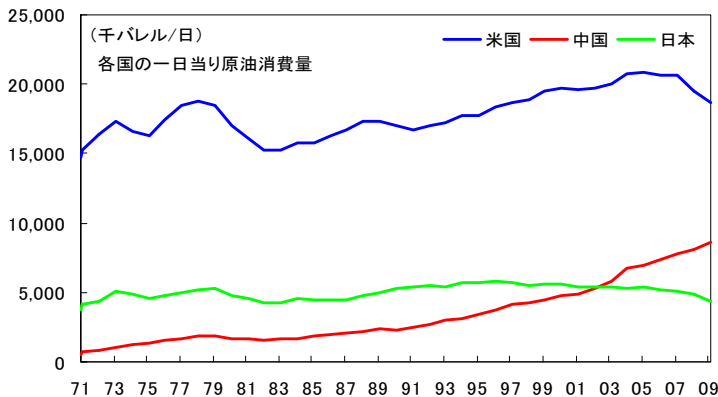
※頂点に達しその後下落すること

●エジプトの原油生産量は日量約74万バレル程度であり、約970万バレルを生産するサウジアラビアなどの中東諸国には遠く及ばず、単に原油生産量という視点だけでは、エジプトの政情不安が原油価格に及ぼす影響は限定的と考えられます。しかし、同国は、スエズ運河や原油パイプラインを保有しており、原油の物流面での影響が懸念されます。ただし、スエズ運河と原油関連の生産が経済全体に占める割合は合計約18%と高いため(図表④)、スエズ運河やパイプライン封鎖のように自国経済に打撃を与えるような事態は政府により回避されるものと考えます。

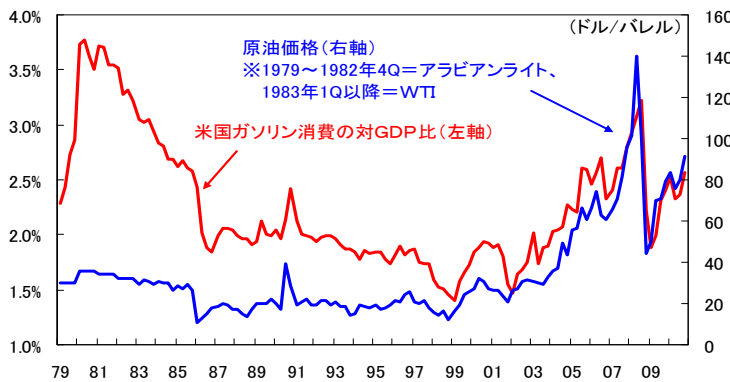
【図表①】



【図表②】

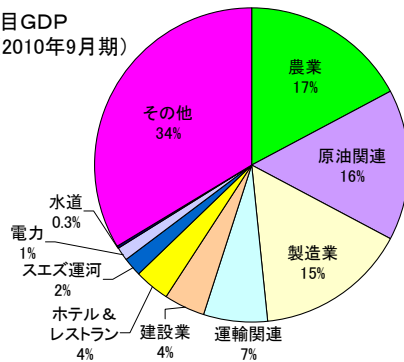


【図表③】



【図表④】

エジプト名目GDP  
項目内訳(2010年9月期)



出所: 図表はブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。  
<審査確認番号H22-TB188>